

不思議の国 ニッポン 実践報告 5年生

= タバコの問題を国際的視野から見る =

平成 12 年 12 月実施

【ねらい】

- (1) これまで、学習してきたメディアに関する学習をもとに、日本におけるタバコの広告について、問題点を国際的視野から理解する。
- (2) 自分たちには、嫌煙権があることを知り、将来自分たちが作っていく社会像について、自分なりの意見を持つことができる。

【子どもたちの反応】

導入部分の「自動販売機のどんなことにアメリカの人は驚いたか」という発問について、子どもたちから「タバコやお酒が売られていること」という意見が出たのは、予想外だった。多分簡単にはでないだろうと思って、ヒントを二つも用意していたがその部分を補足説明に変えて流した。自動販売機についているタバコの広告についても子どもたちの発見は早かった。メディアの学習を2時間やっていたので、視点が早く定まったように思う。

タバコの自動販売機についている広告が「さわやかなイメージ」をかもし出しているね、という説明にも、メディアの学習でCM分析をした学習内容が理解を早めた。また、自動販売機が夜遅くまでやっていることやだれでも自由に变える状態が「子どもたちに配慮を欠いた状況ではないかな」という教師の問いかけに対しても、メディアの学習の視聴率と番組の内容の関わりと似た点があることから理解したようだ。

「不思議の国ニッポン」という主題は、ネーミングがよかったと思う。子どもたちが興味を持った。単なる外国との比較ではなく、外国人からみた日本という授業の観点(?)が子どもたちに伝わったと思う。

ワークシートで、外国におけるタバコに関する規制を予想させるところでは、各班で、子どもたちは真剣にとりくんだ。自主的に社会科資料集を出してきてみている班もあった。ほとんどの班では、外国における規制を厳しいだろうと予想していた。各班で考えたあと、解答をしめして、「このように、フィリピンと日本をのぞいて、ほとんどの国では、タバコの広告やCMそして自動販売機の設置を制限したり禁止しています。この状態をみて、アメリカの人は、20歳未満は禁止といいながら、いつでもどこでもだれでも買える自動販売機がたくさんあるのをみて、不思議な国だな、といったのです。」という説明をした。子どもたちは、予想はしていたものの日本の規制のゆるさに驚いたようであった。

カナダのタバコの警告表示カード一覧(カラー印刷)を各班に配って、「まずは何が書いてあるか読んでみて」と子どもたちに、その内容を読ませた。ここでは教師が、タバコの害をいちいち説明しなくても子どもたちは、タバコの警告表示からタバコの具体的な害を読み取った。

ここで「これを見たら、タバコの害がよくわかるね。買いたくなくなっちゃうかもしれない。いったいどこに印刷されているか、またはどこに表示されていると思う？」をたずねた。子どもたちからは、「外の広告」「家」「自動販売機」などがあがった。「これはタバコの箱です。カナダでは、この警告表示をタバコにつけなければならないという法律があるのです。こんな警告表示が、たばこに貼ってあれば、タバコが売れないと思いませんか。それなのにどうして、いれるのでしょうか」という問いに、「吸う人の健康のため」という意見が出た。「国が国民の健康や子どものことを考えている」という意見が出た。

日本のタバコの注意書きを確認させるため、各班に「C A B I N」を配って、確認させた。カナダの表示に比べ、「健康のため、吸いすぎに注意しましょう」「喫煙マナーをまもりましょう」という2行だけが目に付かないような小さな文字で書いてあることをかくにんしながら、子どもたちからは「いかなあ、これ」ということばがもれていた。ここで、諸外国は「タバコを吸わないのが当たり前の社会」日本は、「タバコを自由にどこでも吸える社会」であることを説明した。

最後に使った、アメリカ人からの手紙は、犬山ALTのハワード先生のお話やインターネットで検索したアメリカ人の日本批評・扶桑町ALTブラッドリー先生の話をもとに、作成した。これは、最後に子どもたちに配った。これを元に、嫌煙権の話や「みんなには、煙草の煙はイヤ

です」という権利がある。ということと話した。ここでも、諸外国は「タバコを吸わないのが当たり前前の社会」日本は、「タバコを自由にどこでも吸える社会」であることを押さえた。最後に、子どもたちには、「タバコの学習をしたみんなに考え違いをしないようにしておきます。タバコは体に悪いタバコを売っているタバコ屋さんはいけないとか煙草を吸っている人は悪い人という観点で見ないでね。そういう社会だからそうになってしまうのです。一人一人の意識と社会を変えていくことが大切です。自分は何ができるか。自分ならどんな工夫をしていきたいかを考えよう」と話した。

ハワード先生への返事と「タバコ社会を空変えていくための工夫」をプリントに書いてくることを宿題とした。1組では、「たばこの問題について日本にどうなってほしいと願うか、また、あなたが身近なところからできることはなんだろう」という課題で宿題とした。

この授業では、1組も2組も、子どもたちはとてもまじめな態度で授業に取り組んでくれた。1年生の時には、宇宙人といわれた彼らが、ここまで成長したかとうれしくなった。

【感想：2組】

普段は、なかなか感想を書けない子も、自分なりの意見を書いてくれたことはうれしかった。以下は、子どもたちの感想

内木 優

アメリカでは、タバコを吸っていいところは自分の家と庭だけって始めて知った。アメリカでは、すっぴいですか、とまわりの人に聞いていることも知りました。

工夫...アメリカみたいに自分の家と庭だけでしか吸えなくする。

酒井春佳

私は、タバコのCMをやるのは当たり前・どこでもやっているんだと思っていてあまり気にしませんでした。でも、それは、他の国の人から見るとびっくりするようなことだなんて初めて知りました。スーパーなどでよくタバコを吸っている人がいますが、本当にイヤです。でも「いやだ」なんてとてもいえません。タバコを吸っている人が、いると自分のほうから避けていきます。これも当たり前と思っていました。でもしおれは外国人から見ると不思議だったなんてぜんぜん知りませんでした。私は、アメリカのように、「タバコを吸わないのが当たり前前の国」になってほしいと思いました。

工夫...お店やレストランなどノ人がたくさん集まる場所では禁煙にシテモシタバコを吸ったら罰金にする。タバコの害を書いたカードを煙タバコの箱の中に入れる。

兼田和磨

ハワード先生の気持ちがわかる気がします。カッコいいタレントがCMに出てきて(カッコいいと思って)吸ってしまって、肺がんなどになったらだれが責任とるのか。自分の責任でもあるけどCM会社にも他の誘った人にも責任があると思う。

工夫...まずは家庭から。お父さんやお母さんが子どもが小さいときから体に悪いと教える。愛情があればできる。けどそういいながら、お父さんやお母さんが吸ってはいはだめだ。だから、最初は家庭から。

三品美月

今日の授業やハワード先生の手紙を読んで、日本と外国の自動販売機がすごくちがっていることがわかった。日本は平気でタバコやお酒を売っているのに外国では売っていない。外国は国民を守るために吸わないように訴えているけど日本は20歳未満の人は吸わないで下さいという法律があるだけです。今までのことで外国と日本は少し情けないと思いました。

工夫...自動販売機でタバコを売のをやめて、普通のお店でうって値段を高くする。

大西麻未

私たちの国日本は、他の国から見れば「変な国」「おかしいのでは?」「子どもたちのことを考えているのか。」と思われたと思います。確かにそうです。タレントがタバコをすってかっこいいとかこれを吸うと美人に見えるなどのタバコをタバコを周防などと言っているようなことを言っている国なのです。でもそれは当たり前になって慰安す。そのためになにかをしようとか決まりを厳しくしようとは考えない国になってしまったのかもいしれません。アメリカがうらやましく思えます。おなかの赤ちゃんの新しい命のことや私たち子どもを日本はもっともっと考えてほしい。

工夫...自動販売機でタバコを売るのはやめよう。
タバコを吸っていいのは、自分の家と庭だけにする。
タバコの値段を高くする。
各家庭でタバコを買う量を決める
禁煙のところでタバコを吸った人は罰金と吸ったところの掃除をする。
タバコが嫌いな人は、胸にバッジをつけて意思表示する。

大池里奈

外国人に日本が不思議な国だといわれていやだなと思いました。それに体のことや子どもたちのことを考えずに吸っているからまわりの人も事を考えてほしい。新聞に大きくタバコの写真(広告)が書いてあって読みにくいから新聞に写真(広告)を出さなかったら大事なところをもっと大きく書いてほしい。

工夫...輸入のタバコを減らす。自動販売機をなくす。

藤井大輝

日本とアメリカを比べると日本はタバコを吸うのが当たり前のように吸っている。けれどアメリカでは、タバコを吸うのがあたりまえではなく吸わないのが当たり前。日本人はアメリカ人を見習わなくてはいけない。

工夫...夜10時過ぎはタバコを売らないようにする。

浅井 琢

タバコのCMを一切していないなんてすごいと思いました。アメリカではタバコの自動販売機もないなんてすごいと思いました。

工夫...タバコの値段を高くする。

木本陽子

私もタバコのおいとかが大きいです。何でそんなものすうのか。本当にタバコはめいわくなのでやめてほしいと思います。

工夫...タバコの値段を高くする。
CM・広告をなくす。
タバコの中に警告カードを入れる。

多和田有起

私もタバコがとってもきらいです。空気がきたなくなったり頭が痛くなるからです。外国はちゃんと子どもをを考えているけど日本はあぜんぜん考えずに子どもが見る時間にもお酒のCMもしています。タバコの自動販売機も子どもの目に付くところにおしてあります。私は、日本にも「子どもたちの事を考えてくれる国」になってほしいと思います。タバコを吸っちゃいけないとはいわないけれどまわりの人のことを考えて少しずつ量を減らしてほしいと言いたいです。

工夫...タバコの自動販売機をなくす。お酒のCMは夜だけにする。

高木佑太

ぼくはこの手紙を読んで改めてタバコは害だなぁと思いました。日本もタバコの広告をやめるとかみんながいるところで吸ったらばっきんとかそういうきまりを絶対作ったほうがいい。

町の中でタバコを吸っている人がいるけれど、みんなのことを考えていないのかなぁと思う。日本にはタバコは20歳からという決まりがあるのにタバコのCMを見せるのかなと思う。これからの社会の中でタバコをすわなければいいくらいができる、会社ももうすこしかんばんなどをみせないようにしてほしい。

**工夫...けむりがでないタバコをかいほつしたい。
かんぱんやしんぶんでタバコのせんでんをしない。
よるにはすってはいけない。**

山本大地

ぼくは、タバコは行けないと思います。ぼくはすわない。タバコはどこでもすわない。

**工夫...火がつかない(けむりがでない)タバコ。
タバコの自動販売機やかんぱんやCMがないといい。**



【感想：1組】



小島憂也

やっぱりタバコはだめだと思った。自分でもなんでタバコやお酒の児童販売機が売られているのか思ったとことがある。また、タバコはどうしてあるのかと思った。お父さんはタバコを吸うので心配だ。

**タバコ社会への希望...タバコの自動販売機がなくなってほしい。
自分ができること...タバコを吸っている人に「他のところで吸ってください」といってみること。**

内山朋美

私は今まで、外国は日本と同じようにタバコを吸っていると思っていました。でも授業とハワード先生の手紙を読んでびっくり。外国はたぶん子どもたちのことを思ってタバコのCMをやっていないんだと思います。日本もアメリカのようになってほしい。

**タバコ社会への希望...タバコの自動販売機がなくなってほしい。
自分ができること...タバコを吸っている人に「他のところで吸ってください」といってみること。**

藤井康奈

私は、10時過ぎまでのタバコを売ったりCMをすることは、すごぶつうのことだと思っていました。ハワード先生のすんでいるところはばっ金とかの法律もないのにタバコを吸っている人がいないのがすごいです。日本ではあちこちで吸っている人がおり、ファーストフード店やレストランなど食事をするところでタバコをすっています。中には、かっこいいと思ってすっている人もいるみたいだけどかっこよく見えません。かえって食事がまずくなるのではないのでしょうか。私はぜったいにタバコは吸いません。

**タバコ社会への希望...タバコの自動販売機がなくなってほしい。タバコの悪さをうったえ、たばこをなるべくすわない国にしたい。
自分ができること...タバコを吸っている人に、自分は、けむりをすいたくないと伝える。**

川田知実

私は、タバコの自動販売機があるのは当たり前とと思っていましたが、販売機だから 20 歳ではなくてもかんたんにタバコが買えてしまいます。タバコは体によくないし、すいすぎると死んでしまうこともあります。私はタバコを売ってほしくないし、作ってほしくないです。それにタバコのCMをカッコよく宣伝しているから見ている人にはタバコをすうとカッコいいというイメージを持たせてしまうからタバコをすう人が多くなると思うからタバコのせんでもやらないほうがいいと思いました。

**タバコ社会への希望...タバコを売らないでほしい。
自分ができること...家の中でタバコをすいすぎてしまう人に注意する。**

北折典子

私の家やおばあちゃん、おじいちゃんみんな、タバコをすいません。でも食べ物の店でタバコをすうなんてしてほしくないのに平気ですうなんて他の人のことも考えてほしいです。アメリカのように禁止をしてほしいけどきつと私たち子どものことを考えてはいなくてタバコの会社が売りたいために宣伝をしているのだと思います。

自分ができること...タバコをすっている人がいて、まわりにめいわくになっていると思ったら、「やめてください」とか「けむりがいやです」と伝えて、めいわくになっていることに気づいてもらう。

小室美貴

私は、ハワード先生の手紙を読んで、タバコのけむりはいやだと思いました。よく考えてみるとどうしてタバコをすうとやめられなくなるのかわかりません。うちのおとうさんもたばこをすうけどあまりすってほしくないです。

タバコ社会への希望...日本ではタバコをなしにしてほしい。

船橋 翔

日本はどうして、自動販売機がどこにでもおいてあるのかがふしぎだと思いました。ぼくだったら、子どもたちやすわれないのことを考えてくれるなら自動販売機をへらしたり、売る時間を変えたほうがいいと思いました。日本もアメリカのようにきびしくしたほうがタバコをすう人が少しでもへってくると思いました。

タバコ社会への希望...日本でもアメリカのようにきびしくして、タバコをすうところを少なくしたほうがいいと思った。

伊藤圭美

だれか他の人がタバコをすっていてその近くにいた私は、すいたくもないけむりをすってしまったという経験はあります。それが家族とか身内のひとや親しい人なら「やめてよ」とかいうけど知らない人にそんなことは言えません。相手は大人だし、私は子ども。本当はこれじゃ、だめなのに、日本はこれなんだなあ。確かに日本はおかしいかもしれない。でもそれをだれも直そうとしないことがもっとおかしいということになる。直す方法はないのかなあ。

**タバコ社会への希望...国がタバコを売のを禁止してほしい。そうすればだれもすえない。
自分ができること...自分の家族とかがタバコをすっていたら注意してあげる。**

岩井大昂

ぼくもタバコの自動販売機やCMが夜の10時以後になってもやっているということがお父さんに聞いてはじめてわかった。(お酒も同じ)また、タバコのけむりがイヤなのに「いやです。」といわないのか、ぼくにはわかりませんが、その人がタバコのけむりをきれいな人にはわかりありません。日本はこのままではいけません。

**タバコ社会への希望...タバコをすってもいいが、めいわくをかけないでほしい。
自分ができること...お父さんにタバコをやめてもらう。**

高木雅斗

ぼくも日本は、タバコを吸うのはあたりまえみたいになっていると思う。町の中でたくさんの人がタバコをすっていて、タバコをいやな人も「いやだ」といえないことはいけないと思う。

タバコ社会への希望...タバコは町の中ではすわない国になってほしい。自動販売機で売らないほうがいい。

高木麻由美

日本は他の国に比べてタバコのCMや新聞のせんでんが多いことを知り、少し悲しかった。でも、今の日本のじょうたいは、私たち日本人が作ったんだから自分たちで直さなくてはと思った。でも、すっている人は悪いと思っているのかと時々思う。電車に乗っていてもとなりの人は何も気にしないですっています。自分からははなれるかすわないでほしいと思っていました。日本を変えたいけど大変なことです。でももし、日本がタバコのない国になったら、とてもうれしいです。

タバコ社会への希望...
タバコやお酒の自動販売機をなくしてほしい。
タバコをすっている人に「やめてください」といえる社会になってほしい。
日本の政府が、国民を守るためにタバコを輸入しないでほしい。
新聞でタバコのせんでんをしないでほしい。

萩原隆道

アメリカはそんなふうだとはじめて知りました。日本が当たり前とっていました。たぶん、みんなもそう思っていたと思う。これからは、日本もそういう社会にしていけないと人にきがいを出してしまう。

自分ができること...タバコをすっているひとがいたら注意してあげる。

鷲見昇一郎

ぼくは、ハワード先生の手紙を読んで、タバコは体に悪いと思っているからタバコは売らないほうがいいと思った。そして買わないほうがいいと思った。

タバコ社会への希望...タバコをすうのをやめてきれいな空気にしたほうがいい。
自分ができること...家族にタバコをやめてもらう。

諸岡佑紀

ハワード先生の手紙を読んで、アメリカはタバコをすわないのがあたりまえと書いてあって、びっくりしました。日本では、タバコをすう人がいっぱいいます。さらにタバコの自動販売機はアメリカにはおいてないことにびっくりしました。

タバコ社会への希望...タバコをすう人はいてもいいけど、外でいっぱいすうのはやめてほしいと思った。

川田絵梨子

私はタバコが好きではありません。タバコをすっている人のそばによるとくさいし、息苦しいし、服にけむりのにおいがしみついていやなき分になります。時々、高校生らしき人がどうどうとタバコをすっているのを見たり、小さい子が近くにいるのにすっている女の人を見かけますが、体にとっても悪いということを知らないのでしょうか。

それをみんなで注意し合えばいいのですが...。私にはこわくていえません。だからもっと大人や法律できびしくとりしましてほしいです。

タバコ社会への希望...タバコをすっている人にめいわくだったら、「いやです。」といえる日本になってほしい。

伊福 佳生

今までふつうにみていたタバコやお酒の自動販売機でしたが、アメリカの人はこの変な日本を見てとてもおどろくんだということがハワード先生の手紙を見てわかった。アメリカの人は「タバコをすわないで下さい」というけれども、日本人は言わない、というところを読んだお母さんは「うんうん」とうなずいていた。ちゃんと知らないからこんな国になってしまったのだと思う。

私は大人になったら、タバコのけむりがいやだったらちゃんと「いや！」といえる大人になりたい。

タバコ社会への希望...1人1人の自覚がたいせつ。(他の人にめいわくだという気持ちをもっとほしい。)

政府も国民のことを考えてほしい。

アメリカのように、タバコをすっているひとに文句を言う。

大人を見て子どもは育つから大人もしっかりしてほしい。

水野雄貴

ぼくもタバコはいけないと思った。ぼくはハワード先生の言うことが当たり前だと思った。日本人は、タバコを人の前ですうことが当たり前だと思っているけれどもワシントンの人たちはぜんぜんすわない。ぼくも大人になってもぜったいたばこはすわない。すったとしても、人のめいわくにならないようにしたいと思った。

タバコ社会への希望...日本人は少しずつでもいいからタバコをすうのをやめてほしいと思った。